

TAKE
FREE
保存版

幸区・まち・発見



まちのいし

Vol.9 2024.3発行

大変だったこと？
全然ないよ
全部楽しいから



CONTENTS

ココドコ?① [P.2] 幸区まちかどインタビュー [P.3]

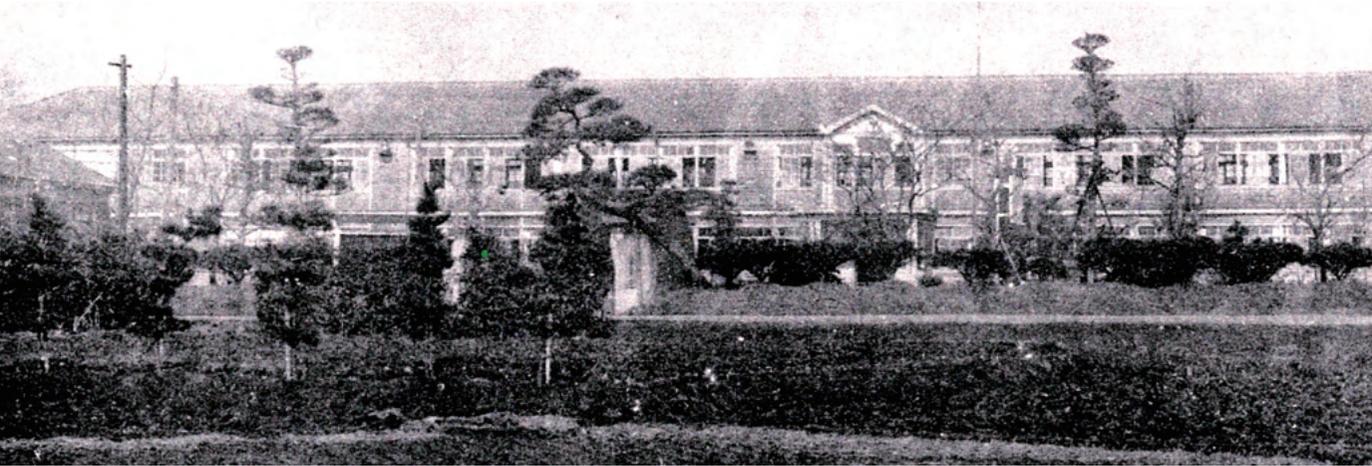
幸区の昔と今の不思議なはなし [P.4] 幸区のと洋スイーツ特集 [P.6]

さいわいソーシャルデザインセンター [P.8]

インタビュー「幸区のひとつ」 [P.10] 幸区ロスワード・編集後記 [P.11]

ココドコ?② [P.12]





1961年の鉄筋校舎



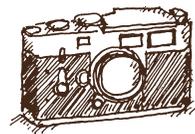
1982年度の創立100年 統合50周年記念

ココドコ？

1873年(明治6年)5月10日「第154番小学校 寿静学舎」として発足されました。
当時の児童数は107名。その歴史は寺子屋から始まりました。
南加瀬高等小学校と鹿島田尋常小学校の統合により、
1932年(昭和7年)に「日吉村立 日吉尋常高等小学校」となりました。
2023年(令和5年)に創立150周年を迎え、現在の児童数は創立時の10倍。
1071名です。(令和5年4月現在)
地域に目を向け、地域とのつながりを大事にした学校づくりを進めています。

幸区まちかどインタビュー

「幸せだなあ」と感じるとき



シーちゃん&ゆうゆう
ライブ活動を通じて”勝手に”地元を盛り上げます!! あなたのハートもガブッと食べちゃっぞ!(自称・夢見ヶ崎動物公園専属アイドルGABU)



松川 渉平さん
ストリートカルチャーと音楽とビールが好きで、首都圏で様々なイベントを企画しています。(KAWASAKI YELL主催)



館野 理香さん
夢見ヶ崎動物公園での「ゆめみ車マルシェ」がご縁で幸区のみなさまと幸せな時間を過ごせています。公園でカレーやコーヒーをどうぞ。(田園調布キッチン)



佐藤 歌恋さん
飛び入りでも熱く迎え入れてくださったこのまちの皆さんが大好きです! みなごちゃまぜでわくわく出来る場所を、私も作っていきたいです。(まちなかのバイオリン弾き)



沼田 拓海さん
生まれ育ったこの土地で、たくさんの方に育ててもらったおかげで今も生きています。その恩をいつまでも忘れずにいたいです。(有志団体「まことさがし」代表)



清水 菜々子さん
カフェに新しく本棚を作りました。本を通じてゆる〜く繋がれるコミュニティが生まれたら良いなと思っています。貸出、ご寄付大歓迎です(^^) (新川崎タウンカフェボランティアスタッフ・大学生)



森田 雅美さん・亀司さん
コトニアガーデン新川崎内のイタリア食材店です。SDGsに取り組み、ワインやパスタ、お菓子などを大特価で販売中。(vivace<ビバーチェ>)



柳澤 裕美さん
創業23年@幸区。産前産後に寄り添う街の助産院。地域のためのプラスアルファを模索中。(オリーブ母子相談室 院長)



丸山 幸一さん・三宅 諒さん
これからの臨港バスもご期待ください!! (川崎鶴見臨港バス総務課長、運行助役)

Follow me! /



幸区の昔と今の 不思議なはなし

まるで浦島太郎のおはなし!? 『小倉池の玉手箱』



現在の小倉小学校のあたりにあった「小倉池」は、江戸時代の二ヶ領用水ができる前からあったと言われている溜池です。

残念なことに現在は埋め立てられてしまいその姿を見ることはできませんが、近くに無量院という古刹(こさつ)があります。「刹」とはお寺の意で、由緒ある歴史の古いお寺のことです。

無量院に伝わる「龍灯観音」それにまつわるお話は、浦島太郎が玉手箱を開いてしまった話によく似ている、まだ小倉地域の農業が盛んだった頃の昔ばなしです。



小倉村に「ヨンキ」と呼ばれるじいさまが住んでいました。
柳の枝を取りに行く途中、持っていたナタが手から滑り、慌てて拾おうとしたところ、どぶん!じいさまは、ため池に落ちてしまいました。



ぶくぶくと池の底に辿り着いたじいさま。

そこにはなんと美しい竜宮城があり、美しい乙姫さまに出会いました。
乙姫さまは、じいさまを大歓迎。

麗しい庭園で酒盛りの夢のような日々を過ごしたじいさま。けれども、三日目に家族のことを思い出し、小倉村に帰ることに。乙姫さまはお土産に玉手箱を授けてくれました。なぜか「絶対に開けてはなりません、ここでの出来事も話してはいけませんよ。」と言い残して。

家に戻ると、なんとじいさまの法事が営まれていました。

池に落ちてから三年の月日が流れており、すっかり死んだものと思われていたのです。元気に帰ってきたじいさまに家族は大喜び。

気分をよくしたじいさまは竜宮城での出来事を話してしまい、手にしていた玉手箱を開けてしまいました!

そのとたん紫色の煙がたちのぼり、悲しいことにじいさまは死んでしまいました。

玉手箱からは小さな観音さまと龍のうろこが現れ、それらは小倉の無量院に安置されました。以来、毎年の地蔵盆の夜、松のこずえから明かりが灯り、それが龍燈の松と呼ばれるようになりました。

村人たちはこの出来事から、じいさまの供養とともに大切な伝承を守り続けたのでした。



不思議な伝説ですね。この民話を幸図書館で調べたら、少なくとも五つの別のストーリーが見つかりました。皆さんも図書館で民話の本を調べてみてください。六つ目のお話が見つかるかもしれませんね。

上空から見ると、まるで風車の形! 『古市場交差点』

幸区の北部に位置する古市場（ふるいちば）。今もなおレトロな面影を残す町並みです。その中心にあるちょっと変わった交差点『古市場交差点』をご存じでしょうか？

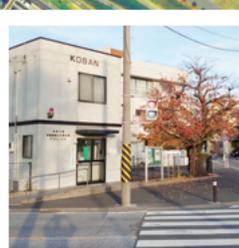
交差点自体は一見普通に見えますが、この交差点に差し掛かる四差路はどの道も右に45度カーブして交差点に入ります。上空から見ると、まさに風車のような不思議な形状の道路になっています。この不思議な交差点が気になり探訪してみました。



『希望の朝』というタイトルの裸婦像がポツンと。冬は寒いだろうか？



広場の真ん中に切り株。かつては何の木だったのだろうか？



交差点の角に交番。街の中心に位置することで安全が保たれているのだろうか？



カーブの手前に裏道が。地元の方の抜け道だろうか？

独自の町並みは、区画整理の名残り

古市場地区は昔、多摩川よりも北に位置しており現東京都の所在でした。多摩川の度重なる氾濫により流路が変わり多摩川の南側に位置する飛地となり、明治時代に神奈川県の土地となりました。その後、軍需などで川崎の人口が増加し居住区として古市場の区画整理が行われ、現在のきれいな街並みが形成されました。

当初よりこの不思議な形状の交差点が計画されていたようですが、その経緯は謎に包まれているようです。地元の方への聞き込みで「当時ロータリー型交差点が多く作られていたからでは？」という話もありました。真偽は不明のようです。ただ緑地化も計画されていたことから、近隣には多くの公園があり、この交差点も憩いの場として作られたのかもしれませんが。

周囲に高層の建物がなく陽当たりも良いので、ぜひ皆さんも散策（探検？）がてら、足を運んでみてはいかがでしょうか。（近くに銭湯もあります！）



地域“蜜”着

幸区の和洋スイーツ特集!

人と地域を繋ぐ、地元のお店の思いを知りたい

今回は、和菓子や洋菓子店の店主さんや店長さんを訪ねてみました。地域密着への取り組みと、思いを込めた一品を紹介していただきました。

発売から40年間、変わらない味の「栗もなか」は逸品

和

御菓子司 喜久屋
店主：亀岡 肇さん

現在2代目のご主人と奥様、3代目の息子さん。赤飯、季節の生菓子など品揃えも豊富で、フルーツを使った新しいメニューも創作されています。地域のイベントの際には、出来たてを提供しようと前日の夜から朝まで夜通し準備することも。そんな心のこもった商品を提供する姿が、地元のお客様に愛され続けている秘訣かもしれません。
(北加瀬2丁目5-21)



洋

定番! クリーミーでコクのある「ニューヨークチーズケーキ」



タリーズコーヒー
コトニアガーデン新川崎店
店長：林 太一さん

“ずっと住みたいまちをつくろう!” がコンセプトの地域交流型施設内にあり、一杯のコーヒーを通して「こんにちは」だけではない、コミュニケーションを大切にしている地域の憩いの場です。ニューヨークチーズケーキは焼き色ほんのり、舌ざわりが超なめらか! ゆったりとしたオシャレな空間で楽しんで♪
(北加瀬2丁目11-1)



和も洋も
甘味が紡ぐ
まちとひと

洋 食感が変化するスイーツ?人気の焼きいもパフェ「いもパ!」



喫茶樹 (ジュリー)
店主: 吉原 木綿子さん

鹿島田のまちに溶けこみ地域を盛り上げた
思いから、2023年4月にオープンしたと
いう喫茶店。ガラス張りの入口にかかる「本
日のランチ」の掲示が目印になっています。
「いもパ!」の温かい焼きいもと冷たいアイ
スには、お客様のアイデアによる柿も添えら
れ、いろいろな食感を楽しめると評判です。
(鹿島田1丁目12-6)



和 かわさき名産品「みゆきの梅」と「おにぎり」をどうぞ



御菓子司 吉田屋
店主: 山中 陽介さん

1950年創業の家族で営む和菓子屋
さん。小学生が企画した和菓子を商
品化するなど、地域と交流していま
す。お店の特徴は和菓子屋が作る“お
にぎり”と神奈川県産の材料を使用し
た和菓子。かわさき名産品や時代に
合わせた新たな和菓子も。
(小向町2-1)



小向町2

洋 人気No.1スイーツは口溶けのいい「ミルクレープ」!

ドトールコーヒーショップ
新川崎パークタワー店
店長: 久島さん



口溶けの良い薄皮生地のミルクレープ。
一緒に頼んだ豆乳ラテとの相性も抜群でした!
お客さんとのコミュニケーションツールとして
新聞を作る店長さん。まだお話ししたことのない
方から感想を頂けることも。ゆとりある空間
や時間制限を設けない工夫により、お客さん
同士のつながりも生まれています。
(鹿島田1丁目1-5)





まちのおと さいわいソーシャル デザインセンター

「まちのおと」は新川崎タウンカフェの一角にあり、地域交流の促進や地域課題の解決に向けて支援する場です。

まちの拠点紹介

ワイワイさいわいツアー

幸区にはたくさんのおもしろい拠点がありません。一般の人も利用できる場所や、イベントに参加できる場があるなど、居場所機能を持つところをご紹介します！

● 北加瀬方面

フォスタジオBEBE 子育て支援や地域活動に熱心なカメラマンがいる、フォスタジオです。

タリーズコーヒー コトニアガーデン新川崎店 「地域に愛される場に」と、一杯のコーヒーを通じた地域との交流をしています。

● 塚越方面

オリーブ母子相談室 助産院としての機能の他にも、地域の人が自分の得意なことを発揮できる場所をつくりたいという思いで活躍しています。

● 鹿島田・古市場方面

幸盛HOUSE 親子に限らず様々なジャンルのイベントを毎日開催する多世代が集まるカフェです。

らいおん図書館 北野書店が運営する「こんな図書館あったらいいな」をキーワードに選書用の見本展示をしています。(2024年5月頃再開予定)



まちのおと
ポータル

各回のレポートはポータルサイトのレポートからご覧いただけます。

活動しても、参加しても

OPEN CAFÉ DAY

あなたの「やってみよう！」を叶えるOPEN CAFÉ DAY 場所を使ってイベント開催してみよう！面白そうなイベントがあったら参加してみよう！例えばこんな団体がやっています。



まめちくサロン

お子さんはベテラン保育士と楽しく遊び、その横でママは縫い物チクチクで自分に集中する時間を。

朗読を楽しむ会

毎回大好評の季節に合わせた朗読を聞いて楽しみながら交流する会。ブレイクタイムには音楽演奏で盛り上がります。

大人も子供も一緒に！声と呼吸のレッスン 呼吸を大きく深く。簡単なストレッチを取り入れ身体をケアしながら声を響かせると元気になります。



まちづくり 応援フォーラム



横浜市にある古民家(空き家)を活用した、富岡サロン「ジュビのえんがわ」をゲストに迎え、駄菓子コーナーの運営や20名もの運営ボランティアが継続して関わる秘訣などの事例をうかがいました。



地域との連携



ゆめみらい交流会

-夢見ヶ崎でつながる、地域の輪-



平成29年(2017年)に開催された車座集会で「夢見ヶ崎動物公園(加瀬山)の新たな魅力と賑わいの創出において」をテーマに意見交換したことをキッカケに「ゆめみらい交流会」がスタートしました。幸区、動物園サポーター、自治会町内会、商店会、地域団体、企業等と一緒に交流し、今年度は「まちのおと」も司会を担いました。また、2023年11月に5年ぶりに開催された「秋の動物園まつり」では、交流会のブースを出し、地域の活動団体とともに盛り上げました。

ハロウィンかかし

-鹿島田交通広場-

毎年さまざまな工夫をこらした、面白いかかしが立ち並びます。



2021年



廃材でSDGsをテーマに。

2023年



這い出した目の前にはクリームソーダ?

2022年



タオーマン?

「まちのおと」でできること

知る

幸区のことをWebやSNSで発信。情報コーナーにはチラシがたくさん!

学ぶ

幸区を学ぶ機会を設けます。どなたでもご参加可能!

相談する

地域活動や団体の立ち上げ、相談アドバイスについてサポートします!

つながる

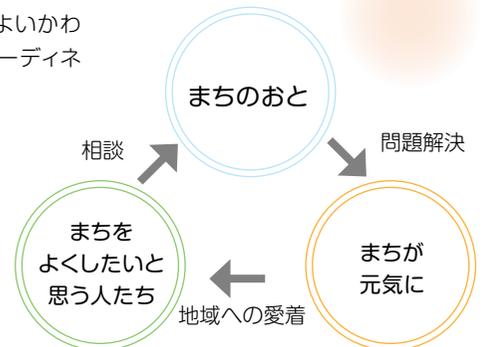
交流会などの様々な機会を設けて地域活動に関わる方をつなぎます。

話し合う

「困った」や「やってみたい」を意見交換し、より良いまちづくりへ。

地域活動のこと「まちのおと」にお話してください!

地域活動に参加してみたい、活動の始め方がわからないなど、どこに聞いてよいかわからない方に活動の紹介やアドバイスをする相談窓口があります。私たちコーディネーターは、行政や地域団体との連携など、地域活動の応援をしています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。





インタビュー
幸区のひと

加瀬山にこの人あり！

夢見ヶ崎動物公園を「花と緑の楽園」へ再生させた立役者

さいわい加瀬山の会3代目会長 成川 七郎さん

— 20年以上にわたり、息の長い活動を続けている「さいわい加瀬山の会」 —

月3回のペースで、下草刈り、樹木の剪定、枝打ちなどの園内整備活動を続ける。成川七郎さんは、その3代目。就任以来メンバーと共に10年以上歩んできた。夢見ヶ崎動物園は1972年に開園、2023年に50周年を迎えた。加瀬山のふもとから公園へつながる道路沿いには見事な大木となった桜や楠が枝を広げ、現在は桜の名所として人気を集める。動物公園駐車場入口付近に、「ヨコハマヒザクラ」という珍しい種類の桜が植わっているのをご存知だろうか。

かつてここにあった桜は、公園駐車場整備と付近

のマンション建設工事に伴い、伐採をくい止めることができなかった。しかしその後、駐車場とマンションの間の緑地に新たに桜を植樹することが決まった。

「ヨコハマヒザクラ（横浜緋桜）」という新種の桜があることを知った成川さんは桜の育種家に交渉し、5～6本譲り受けることができた。「河津桜よりも遅くて、吉野より早い。赤っぽいピンク色の早咲きの桜で、本当にきれいだよ」と我が子を見つめるように、目を細める。

もう一つの功績は、中央広場の再生

公園入口右手にある芝生の広場はたくさんの家族連れでにぎわい、子供たちが楽しそうに走り回る。

かつてここは暗くどんよりした空気が漂う場所だったが、長く伸びた草を刈り、伸びすぎて鬱蒼とした木々を剪定し、明るい陽射しが降り注ぐ空間に変えた。更に、広大な広場を囲むようにして、半円形の大きな花壇を作った。「地域の子供たちが花を植えて、緑に親しむ場にしたい」そんな思いが行政や学校を動かした。さいわい加瀬山の会が整備した大きな花壇では、地域の小学校の子供たちが花を育てている。四季折々、1600株もの花々が訪れる人の心を和ませてくれる。

荒廃していた昔の面影は微塵もない。自分たちの手で整備をした広場が、見違えるほどに息を吹き返

した。「きれいになると、そこに人が集まるんだね。今では、たくさんの方が足を運ぶ広場になった」と胸を張る。

「活動を続ける中で、大変だったこと？全然ないよ。全部楽しいから」そう話す屈託のない柔らかな笑顔が、晴天の青空に映えてとても眩しい。既に公園の一部となった成川さんの功績は、これからも訪れる人々を温かく優しく迎えてくれるだろう。



幸区ロスワード「ま□□□□情報誌です、よろしく！」

ヒント

A B C D

1	A		2	3		4
5	6					
7				8	9	
	10	11			12	
13		C		14		
15					B	
16					17	18
			19	20	D	
21						

タテのカギ

- 1 SDCは、○○○の交流の場
 3 施行は、しごと又は○○○と読みます
 4 夢見ヶ崎といえば太田○○○
 6 尻手駅徒歩五分、食堂もあるよ
 9 区内屈指の縄文天然温泉
 11 幸区の幸から「さ」を取ったら？
 13 鹿島田駅前のタワーマンション
 14 ○○たまご
 18 目標とするもの、自印
 19 区役所へは、矢向駅下車○○約十五分
 20 尻手は幸区だけと矢向は鶴見区

答えは
こちら



●作成 / 森部 隆

ヨコのカギ

- 2 南も北もあるよ
 5 ニケ領用水のニケ領とは川崎領と○○げ領のこと
 7 新川崎で見られる機関車EH500は○○太郎が愛称
 8 ロバはウマ科、ヒツジは○○○です
 10 ピースサイン
 12 新装開店の花と言えば

- 13 郵便番号212
 15 下平間の称名寺には赤穂浪士○○○○○掛け軸が！
 16 波の音は、○○ーんと聞こえる
 17 自称○○見ヶ崎動物公園専属アイドルGABUさん
 19 2024年は辰ですね
 21 安くて品ぞろえも豊富な国道沿いのお店

わたしたちが作っています！



編集後記

■伊藤 公一

加瀬山の太田道灌の伝説だけでなく小倉池にも浦島伝説が残っている、そんな幸区がますます好きになりました。まちのいとも伝説の情報誌と呼ばれたい！

■中村 純子

たくさんのお会いをもらって感謝だけです。新しい事を知ることができるのは、楽しい！またこれからもま〜ぜ〜です。

■水田 理紗

お聞きした内容をまとめることが難しく、相手に伝わる言葉の表現力や語彙力の大切さを実感しました。初のインタビュー同行が出来て楽しかったです^^

■今井 康裕

まちのいとの編集に関わることでたくさんのご縁に恵まれたことがとても嬉しかったです。これからもまちの情報を発見・配信していきたいです！

■木戸 真理子

今回小倉の玉手箱の挿絵を担当しましたが、見慣れない田園風景に苦労しました。一箇所ツッコミどころがありましたので、どこか探してみてくださいね！

■清水 菜々子

今回初インタビューを体験しましたが、人が繋がっていく様子が好きだなあと感じました。編集メンバーの皆様もありがとうございました！

■梅津 ミスズ

子供達が在校中に、日吉小の150周年記念に参加できたこと、とても嬉しく思います。特集の幸区の和洋スイーツ、まだのところはぜひ行きたいと思っています。

■事務局

ボランティア編集チームのみなさんの想いをつなぐ一冊になりました♡(岩川)幸区の面白さをみんなで持ち寄りました。手に取って読んでいただきたいと思います。(中村)

ココドコ？

尻手駅は
幸区にあるって
“しって”る？



● 撮影・文 / 中村 圭子



まちのいと情報誌

本誌は、さいわいソーシャルデザインセンター事業として、
市民ボランティアの皆さんと企画、編集、取材をして発行しています。
発行日：2024年3月 発行：株式会社イータウン 発行責任者：齋藤 保
川崎市幸区鹿島田1-1-5 パークタワー新川崎102 新川崎タウンカフェ内
TEL/FAX：044-555-0233 メール：info@saiwai-sdc.net

バックナンバーは
＼ こちら ＼

